

于比土

下之終





宇山麻奈傳の巻

廿三のち
園内傳

又ハ園防中^{どうらふ}に^{大東國}建^た仲^{ちゆう}威^い柄^{へい}は^長治^ち院^{いん}也^{なり}。
 白河院^{しらかわいん}女^{むすめ}有^{あり}。堀^{ほり}川^{がわ}院^{いん}亦^{また}有^{あり}。
 多^{おほ}く^くは^はに^には^はい^いに^に共^{とも}あ^あは^はり^り也^{なり}。
 あ^あつ^つを^をあ^あひ^ひの^のり^りも^もあ^あは^はり^り也^{なり}。
 一^いま^まあ^あは^はり^りに^には^はい^いに^に共^{とも}あ^あは^はり^り也^{なり}。
 い^いま^まあ^あは^はり^りに^には^はい^いに^に共^{とも}あ^あは^はり^り也^{なり}。
 て^てあ^あは^はり^りに^には^はい^いに^に共^{とも}あ^あは^はり^り也^{なり}。
 は^はい^いに^には^はい^いに^に共^{とも}あ^あは^はり^り也^{なり}。
 あ^あは^はり^りに^には^はい^いに^に共^{とも}あ^あは^はり^り也^{なり}。



[illegible][illegible]

[illegible]

八

[illegible]

初子内親王御伊

内親王は後朱雀院皇女と謗を継物謗の中を嫁すのう
こむり候へり。あやむ。初子内親王申さる。昔は馬四
月廿一日。あやむ。初子内親王申さる。昔は馬四
不二の。あやむ。申さる。初子内親王申さる。昔は馬四
伊。あやむ。申さる。初子内親王申さる。昔は馬四
はる。あやむ。申さる。初子内親王申さる。昔は馬四

あやむ。申さる。初子内親王申さる。昔は馬四

初子内親王御伊

金葉。あやむ。申さる。初子内親王申さる。昔は馬四

初子内親王御伊

あやむ。申さる。初子内親王申さる。昔は馬四

初子内親王御伊

大江氏の。あやむ。申さる。初子内親王申さる。昔は馬四

初子内親王御伊

天徳中 齊光 永延參議 匡衡 擧周成衡 匡房 補左大辨 匡衡 擧周成衡 匡房 補左大辨

又匡衡の學問 匡房より書信ハ手抄中納言ニ奉書 書信ニ奉書

古事抄 下向 康和四年 抄 御位 叙正二位 康和四年 再任 權時 二年 大藏 下向 月 亮 七土公 補任 匡衡 是也

歌 大匡房 叙正二位 康和四年 再任 權時 二年 大藏 下向 月 亮 七土公 補任 匡衡 是也

前中納言 匡房 叙正二位 康和四年 再任 權時 二年 大藏 下向 月 亮 七土公 補任 匡衡 是也

言 匡房 叙正二位 康和四年 再任 權時 二年 大藏 下向 月 亮 七土公 補任 匡衡 是也

多 匡房 叙正二位 康和四年 再任 權時 二年 大藏 下向 月 亮 七土公 補任 匡衡 是也

ほ 匡房 叙正二位 康和四年 再任 權時 二年 大藏 下向 月 亮 七土公 補任 匡衡 是也

人 匡房 叙正二位 康和四年 再任 權時 二年 大藏 下向 月 亮 七土公 補任 匡衡 是也

こ 匡房 叙正二位 康和四年 再任 權時 二年 大藏 下向 月 亮 七土公 補任 匡衡 是也

お 匡房 叙正二位 康和四年 再任 權時 二年 大藏 下向 月 亮 七土公 補任 匡衡 是也

の 匡房 叙正二位 康和四年 再任 權時 二年 大藏 下向 月 亮 七土公 補任 匡衡 是也

お 匡房 叙正二位 康和四年 再任 權時 二年 大藏 下向 月 亮 七土公 補任 匡衡 是也

ま 匡房 叙正二位 康和四年 再任 權時 二年 大藏 下向 月 亮 七土公 補任 匡衡 是也

は 匡房 叙正二位 康和四年 再任 權時 二年 大藏 下向 月 亮 七土公 補任 匡衡 是也

い 匡房 叙正二位 康和四年 再任 權時 二年 大藏 下向 月 亮 七土公 補任 匡衡 是也

う 匡房 叙正二位 康和四年 再任 權時 二年 大藏 下向 月 亮 七土公 補任 匡衡 是也

え 匡房 叙正二位 康和四年 再任 權時 二年 大藏 下向 月 亮 七土公 補任 匡衡 是也

お 匡房 叙正二位 康和四年 再任 權時 二年 大藏 下向 月 亮 七土公 補任 匡衡 是也

い 匡房 叙正二位 康和四年 再任 權時 二年 大藏 下向 月 亮 七土公 補任 匡衡 是也

お 匡房 叙正二位 康和四年 再任 權時 二年 大藏 下向 月 亮 七土公 補任 匡衡 是也

[illegible][illegible][illegible]

七月奉_レ謚宗德院_○
諸杓百練杓

新也又云一也の海龍河姑らにて是

詞量 題 小 倭 水 ありて 幸ぞ

きぢくもあつてさうにうけ
強てゐる人々。第

卷四
糸一瀬二波千遍障良以逝水之後毛將相合

ナラズトモ
尔不有十方てあやふしきことぞあるを

大陸の東部を流る。河水中の石

あはれに流るる水もあはれに流るる水も伊勢

物はあつてゐるを何處の如くかゞとて候

志。其。思。不。可。以。忘。也。

いふ物語を二日とておもしろくあつたといふことであらう。

君はにほひてあはれなり

Handwritten signature or scribble.

ニタスラ
一向序をん。古歌をてふるのあはれ。古歌の由歌ふ。

ねのほろあまきりてけりあをふみ下。

下をとりあつておれりともいふべし

[illegible]

ハヤ
座まりん。みづうも土。日り少。お黒き。うら。うら。うら。

予は是れを以て常々爲るべし。

人新物

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

あふふふふふふ

あふふふふふふ

あふふふふふふ

あふふふふふふ

あふふふふふふ

あふふふふふふ

あふふふふふふ

あふふふふふふ

あふふふふふふ

あふふふふふふ

あふふふふふふ

あふふふふふふ

あふふふふふふ

あふふふふふふ

あふふふふふふ

あふふふふふふ

あふふふふふふ

あふふふふふふ

あふふふふふふ

あふふふふふふ

あふふふふふふ

あふふふふふふ

あふふふふふふ

初學十卷
廿二

初學十卷
廿二

初學十卷
廿二

初學十卷
廿二

初學十卷
廿二

初學十卷
廿二

初學十卷
廿二


~~~~~

西行法師

宇治の西行法師

康治元年三月十五日

西行法師来

日依行一品經兩院以下貴所皆下給也。不嫌料紙、養惡、只可

用自筆。余不輕承諾。又余同年。答曰廿五。

左兵衛尉義清也。左衛門大以重代勇士仕法皇。自俗時入心

於佛道。家富年若。心無愁。遂以道世人養歎之也。有孫稱保

延六年十月十五日。西行法師出家。廿三藤原秀卿朝臣後也。

下野國押領使藤原秀卿朝臣依射將門之遺。天曆二年三月。叙從四位下。

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

月夜にけしきさきさきとてけしきさきさきとて
 けしきさきさきとてけしきさきさきとて
 けしきさきさきとてけしきさきさきとて
 けしきさきさきとてけしきさきさきとて
 けしきさきさきとてけしきさきさきとて
 けしきさきさきとてけしきさきさきとて
 けしきさきさきとてけしきさきさきとて
 けしきさきさきとてけしきさきさきとて
 けしきさきさきとてけしきさきさきとて
 けしきさきさきとてけしきさきさきとて

いまはけしきさきさきとてけしきさきさきとて
 けしきさきさきとてけしきさきさきとて
 けしきさきさきとてけしきさきさきとて
 けしきさきさきとてけしきさきさきとて
 けしきさきさきとてけしきさきさきとて
 けしきさきさきとてけしきさきさきとて
 けしきさきさきとてけしきさきさきとて
 けしきさきさきとてけしきさきさきとて
 けしきさきさきとてけしきさきさきとて
 けしきさきさきとてけしきさきさきとて

初学下巻
 宇蓮法師

父の後何事も無き也。後來つては、さきよりいふ如く、
 建仁二年七月廿日午時許參上。左中辨少輔入道蓮
 逝去由聞之。即退去。已依為輕服也。今聞之。哀傷之
 思難禁。自幼少之昔。久相馴。數十回。況於和歌之道者。傍
 輩誰人乎。已以奇異之逸物也。法名不宣。あきなり。毎
 中辨少輔は、いふに、けしきさきさきとてけしきさきさきとて

(Handwritten musical notation)

[illegible]

皇嘉門院聖子崇德院之后大治五年二月立后久安六年二月號院諸記法性寺殿慮道之女也別當大皇太后宮亮俊

隆
王，具平親
後。

大いなるのあゝろくもわいのふたつ
まじりあひて

姓名 = 藤田 幸次郎
 年齢 = 40 歳
 職業 = 自由作家

三ッ子の争ひ也かそ是れも争ひん入。うなあいが

ハあづきと云ふは何の歌也。又ゆゑ難波ハ其の標也。

ふ
新
て
を
あ
。
標
標
も
方
を
あ
の
女

オリス

初学下卷 廿七

ありやうと云ふ所の^{ツラ}あるまでと云ふを^〇満ちた^〇と云ふ^〇親

[illegible]

邏珥譽能據劉馭登母弟系卷二
尔多知之奈布伎

故コ
非ヒ
和ワ
多タ
里リ
奈ナ
無ム

あゝいりし時 聲あふむ ねえ ああさうさう 思ふ人

その様をおもひて格のむきと思ひつけぬあて

て

式子内親王

御父ハ後白河院御母ハ從三位成子

大納言季成卿女

齋院

准三宮 大系圖續世經

玉の

は

新

木

た

う

る

物

あ

い

う

え

お

か

き

く

こ

さ

新古今集、家
持、其國、とるを
とる

子載^中。經^ス。一。二。三。四。五。六。七。八。九。十。十一。十二。十三。十四。十五。十六。十七。十八。十九。二十。二十一。二十二。二十三。二十四。二十五。二十六。二十七。二十八。二十九。三十。三十一。三十二。三十三。三十四。三十五。三十六。三十七。三十八。三十九。四十。四十一。四十二。四十三。四十四。四十五。四十六。四十七。四十八。四十九。五十。五十一。五十二。五十三。五十四。五十五。五十六。五十七。五十八。五十九。六十。六十一。六十二。六十三。六十四。六十五。六十六。六十七。六十八。六十九。七十。七十一。七十二。七十三。七十四。七十五。七十六。七十七。七十八。七十九。八十。八十一。八十二。八十三。八十四。八十五。八十六。八十七。八十八。八十九。九十。九十一。九十二。九十三。九十四。九十五。九十六。九十七。九十八。九十九。一百。

新古今集、家
持、其國、とるを
とる

子載^中。經^ス。一。二。三。四。五。六。七。八。九。十。十一。十二。十三。十四。十五。十六。十七。十八。十九。二十。二十一。二十二。二十三。二十四。二十五。二十六。二十七。二十八。二十九。三十。三十一。三十二。三十三。三十四。三十五。三十六。三十七。三十八。三十九。四十。四十一。四十二。四十三。四十四。四十五。四十六。四十七。四十八。四十九。五十。五十一。五十二。五十三。五十四。五十五。五十六。五十七。五十八。五十九。六十。六十一。六十二。六十三。六十四。六十五。六十六。六十七。六十八。六十九。七十。七十一。七十二。七十三。七十四。七十五。七十六。七十七。七十八。七十九。八十。八十一。八十二。八十三。八十四。八十五。八十六。八十七。八十八。八十九。九十。九十一。九十二。九十三。九十四。九十五。九十六。九十七。九十八。九十九。一百。

[illegible]

增三佳家隆

六五^ニ
中^{三ツタカ}
納^ナ
光^{ミツタカ}
隆^ノ
補^ホ
未^ミ
切^キ
大^{ダイ}
所^{ショ}
中^{チュウ}
元^{ゲン}
重^{ジュウ}

女家隆下安元、系正月廿八日
時多特像
二、三、月

初學下卷 三十九

付。元久三年正月九日。建保四年正月拾二日。官内
如元 又書
 二年正月十二日。同九年
改元被 拾二日。未改元之事。四月廿八日。八十
二浦住 又書
 建保四年正月九日。付。元久三年正月九日。十
三
 六七
 葉

風そよぐまの
 重なりけり
 夕暮はのみ
 糸の
 糸の
 糸の

新秘授。宣統元年女滿。
光緒帝在時，恩寵甚隆。如：年十
月入內廷，隨侍左右。所居廣寧宮院。入內苑。

大いの川

うらまよはぐあふと海へありあそぶ

秋
秋
ち
に
海
橋
ま
あ
る

あまのこころのちがひをいふにふたふたの歌は

あまのうへにのりてふくみしるをねむすといふは

[illegible]

明倫彙編

[illegible]

